

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 田村 遥
所属 (School) 工学研究科 物質・化学系専攻
化学工学課程
学年 (Grade) 博士前期課程 2 年
留学先 (Name of overseas institution)
香港科技大學
留学期間 (study abroad period)
2018/12/16~2018/12/21
記入日 (Date) 2018/12/25

留学レポート Study Abroad Report

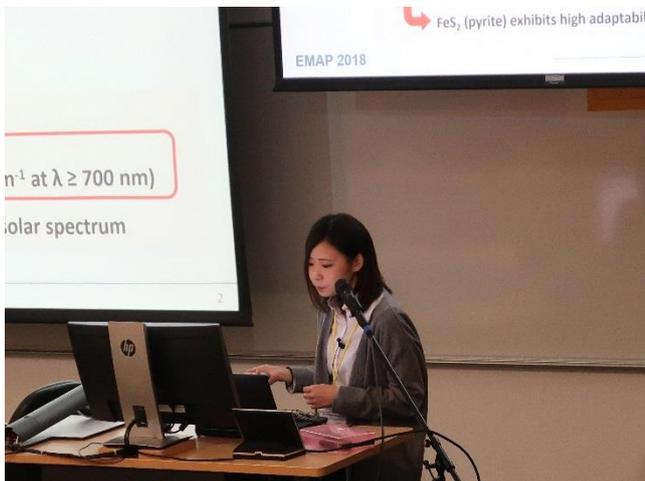
✓ はじめに

私は 2018 年 12 月 17 日~20 日に、香港科技大學で開催された国際学会 (The 20th International Conference on Electronic Materials and Packaging (EMAP2018)) に参加しました。また、学会初日には、同大学の Material Characterization and Preparation Facility や Center for Advanced Microsystems Packaging の Electronic Packaging Laboratory の見学もさせていただきました。このレポートでは、国際学会への参加、大学の研究室見学について、私が今回の渡航で感じたことについて報告します。

✓ 学会への参加

私は、香港科技大學にて開催された EMAP2018 に参加し、5 分間の口頭発表とポスター発表を行いました。この学会は、電子材料やその実装に関する学会で、6 か国以上から 150 人以上の各種材料を扱う学生、研究者、技術者が参加しました。学会初日のプログラムはレジストレーションのみでしたので、同大学内の研究室を見学させていただきました。学会 2 日目から 3 日目までは基調講演と発表セッションが行われました。発表は、ポスター発表とそのフラッシュ発表として 5 分間の口頭発表が行われました。参加者の関わる研究分野は幅広く、私が取り組んでいる研究分野について詳しい人は少なかったために、自分の研究内容を限られた時間の中でわかりやすく丁寧に英語で説明することに大変苦労しました。初めての英語での発表で大変緊張し、拙い英語でしたが、多くの方々に真剣に聞いて頂けました。台湾やタイなど英語を母国語ではない国の方々は流暢な英語で慣れた様子で発表しており、語学力の差や経験の少なさを痛感しました。ポスター発表では、熱の入った議論が随所でなされており会場全体が活気にあふれていました。基調講演や招待講演の数も多く、著名な専門家のお話を伺え大変貴重な経験となりました。

学会期間中は参加者全体で食事を共にすることが多く、様々な国の方々と交流することができました。英語での会話はかなり苦労しましたが、意思の疎通ができたときの喜びは一入でした。



(写真左) 自身の口頭発表の様子

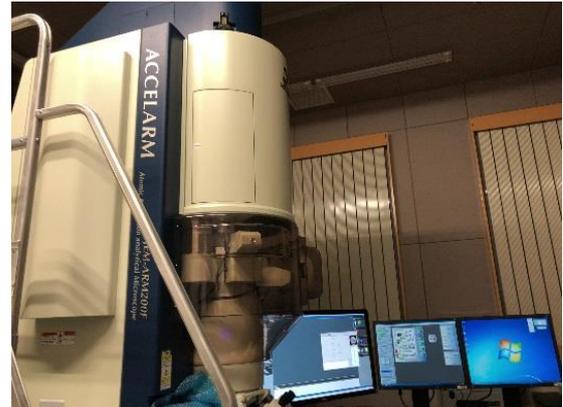
(写真右) 学会 2 日目のランチの様子 合間にスポンサー企業の紹介がありました

✓ 香港科技大學の研究室見学

大学内の測定施設である Material Characterization and Preparation Facility や、クリーンルームの設置されている Nanosystem Fabrication Facility、学会の運営委員である Jeffery 先生の研究室である Center for Advanced Microsystems Packaging の Electronic Packaging Laboratory の見学を、シンガポールの企業の方と共にさせていただきました。香港科技大學は、アジア内の大学ランキング 1 位で約 9000 人の学生が学んでおり、留学生の割合が他大学と比較して多いことも特色の一つです。留学生が多いためか学生同士は英語で会話しており、講義も英語で行われているそうです。香港科技大學の学生は英語が堪能であったのも納得でした。まず、クリーンルームの見学をさせて頂いたのですが、クリーンルームはリニューアルされてから日が浅く、機械は綺麗に並べられており室内もかなり整理整頓されていて綺麗でした。次に測定施設の Material Characterization and Preparation Facility を見学しましたが、高価な機械が数多くあることや所持している測定機器の種類の多さに驚きました。とくに 1 台 20 億円とも言われる透過型電子顕微鏡 (TEM) を複数台所持しており、日本の大学とのスケールの違いに先生と共にただただ驚愕しました。



(写真左) 研究室見学をしたメンバーで記念撮影



(写真右) Material Characterization and Preparation Facility 内にあった HRTEM

✓ さいごに

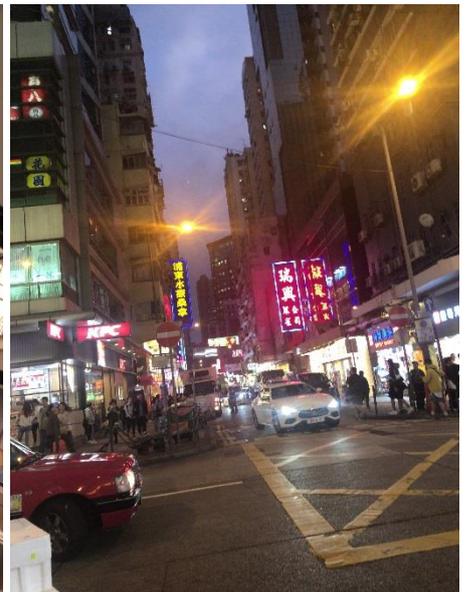
今回の学会では、日本から近く行きやすい場所である香港を訪れましたが、日本とは異なる文化や空気感に触れることができ、大変貴重な経験ができました。中国では街中にいる方々は英語があまり得意でない聞いていましたが、香港市内のお店では英語が通じるところがほとんどでした。また、地下鉄やバスなどの公共交通機関がかなり安く、本数も多かったために移動も特に苦勞はしませんでした。学会の会場であった香港科技大學は、カンファレンスがよく開催されるためか、学内に学食とは別に綺麗なレストランや、カンファレンスの参加者が宿泊できるような Conference Lodge が建てられていたり、学内の設備が充実していました。国際学会は、今まで参加してきた国内学会とは異なり、発表セッション以外にも参加者が交流できるイベント (今回の学会は競馬場で懇親会が行われ、色んな国の方々と競馬を楽しみました) が多く、準備は大変かもしれませんが、機会があるならば参加することを強くおすすめします。



(写真左) 香港科技大學の外観 これは一部分で実際にはもっと大きい建屋です



(写真中) 大学内にある中華料理の高級そうなレストラン



(写真右) 香港市内の夜の街並み